



新穂さん（左）と中崎さん（右）

厚生労働大臣特別表彰を受賞

6月12日、市長室で厚生労働大臣特別表彰の伝達が行われました。これは、民生委員として20年以上在職、または75歳以上で15年以上在職し、その職務に奨励された方に対して贈られるものです。今回は、新穂レイ子さんと中崎禮子さんの2名が受賞され、市長から表彰状が伝達されました。市長は「社会福祉の充実のために長い間ご尽力いただき、誠にありがとうございます。今後も地域福祉のよき相談役として協力をお願いします」と話しました。



恋ダンスを踊る子どもたち

「親子ふれあいファミリーコンサート」開催

6月25日、そお生いき健康センターで「第10回親子ふれあいファミリーコンサート」が開催されました。本イベントを企画したのは曾於市子育て支援センター。豊國淳子先生指揮のもとメセナ楽団のみなさんの心のこもった演奏をたくさんの方が聞き入っていました。特にパネルシアターや豊國先生の三線とハンドベルなどに響く演奏に全員が引き込まれていきました。アンコール曲では、子どもたちも一緒に恋ダンスを踊り、会場は一体感に包まれました。



田植えを行う和田さんと関係者

8年ぶりの新嘗祭献穀米御田植式

6月15日、末吉町高松の和田光弘さんが所有する水田で「新嘗祭献穀米斎田御田植式」が行われました。新嘗祭とは、稲の収穫を祝い、翌年の豊穰を祈願する古くからの祭儀で、天皇が新穀を天神地祇に供え、みずからもそれを食します。当日は、多くの来賓と関係者が出席し、降神の儀や献穀の儀、田植えなどが行われました。和田さんは「恥をかかないように全身全霊で管理していきたいと思います」と話しました。



弥五郎どん保存会の中迫さん（左）と津曲さん（右）

観光事業功労者賞・優良観光団体賞のW受賞

6月19日、鹿児島県観光連盟の受賞式が行われ、弥五郎どん保存会会長中迫勇さんが「観光事業功労者賞」を、弥五郎どん保存会が「優良観光団体賞」を受賞しました。中迫会長は「私達は、県内各地で地域それぞれの特徴を生かした観光振興や地域活動に取り組んできました。これからも、微力ではありますが、なお一層鹿児島県観光事業の振興発展とともに、地域経済の活性化のために少しでも力になれるよう努力します」と力強く話しました。



講師の榎本春幸さん

「総合大学特別講座講演会」開催

6月10日、末吉総合センターで総合大学特別講座講演会が開催されました。これは、「食」に関する7つの講座で、今年度から新しく始まったものです。今回の講師は、曾於市PR大使の榎本春幸さん。『世界に誇れる日本の食文化』と題し、食文化継承の重要性や地産地消の大切さなどについて講演が行われました。榎本さんは「無理は続かない。できることからしてみよう」と話しました。食に対する意識を変えるきっかけになる講演となりました。



講演を行うコウケンテツさん

「曾於市総合大学」開講

6月4日、末吉総合センターで第12期曾於市総合大学開校式が行われました。今年度は、5学部102講座と特別講座7講座の延べ1900人を超える受講生となりました。記念講演の講師は、料理研究家のコウケンテツさん。「キッチンからはじめる家族の絆」と題して講演が行われました。コウケンテツさんは「誰かと一緒に食事をすることで幸せホルモンの『オキシトシン』が分泌され、ストレスを緩和し幸せな気分をもたらす効果がある」と話しました。



左から谷口教育長、田中さん、岩水市子連会長

長年にわたり青少年育成活動に尽力

6月2日、鹿児島市で鹿児島県子ども会育成連絡協議会総会が行われ、田中茂輝さん（末吉町）が個人表彰を受賞されました。田中さんは、平成16年4月から平成27年3月まで末吉校区北部地区公民館青年部長として、世代間で交流できる行事などを企画・運営してきました。平成18年4月からは青少年指導員として、平成27年4月からは、市青少年研修活動事業実行委員会の有識者として、団体活動における規律と協同を教え、様々な体験を活かし青少年の育成に大きく貢献されています。



交通安全を呼びかけステッカーを配布する隊員

地元出身の自衛隊員がボランティア活動

6月29日、末吉小学校付近で陸上自衛隊都城駐屯地の末吉郷土会の皆さんがボランティア活動を行いました。末吉郷土会の会員は20人。定期的に末吉町内の清掃活動やボランティア活動などを実施しています。当日は、地域の子どもたちの安全を守るために、横断歩道での交通安全立哨とステッカーの配布を行いました。同会会長の外山さんは「地元への恩返しになればいい活動を続けています。自衛隊への入隊を希望する子どもたちが増えればうれしい」と話しました。